JAIST グッズ創生記

國藤 進 北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授

1 あらまし

イギリスの創造性教育学者 Marilin Frier に頼まれ、 日本独自の創造技法である KJ 法を教えるワークショ ップをイギリスで行なった. その二回目は西スコット ランド大学で、日本から参加した男性はスコッチを、 女性は化粧品セットをお土産にもらった、いずれも大 学のブランド名が入った大学グッズであり、印象ふか いお土産であった.

帰国後考えたのは、JAIST も創設時にはJAIST ネク タイや JAIST Cup があったのに、いつの間にかそれ らを目にすること無くなったという事実である.

そこで一念発起し、JAIST グッズを創る講義を企画 した. 最初は当時話題となっていた3Dプリンタで, 学生と一緒にJAIST グッズらしきものを各種プロトタ イプした. 当時は3研究科体制だったので,3研究科 を意識したなかなか立派なプロトタイプを作成したが、 翌年から9領域制になり、そのままでは商品にふさわ しくないものとなった.

「地域創生論」講義と連動

幸いにも筆者は「地域創生論」講義という夏季集中 講義をもっていた. 地元の特産品を使い、JAIST{教員 や修了生・在校生がお土産にしたいモノを創作するこ とにした.

2015年度は能美市宮竹町「宮本酒造」と協力し、宮本 酒造の純米吟醸「夢醸」をベースに、JAIST 初の公認グッ ズである純米吟醸「先端」を院生の原田 祥がラベル製 作した. ラベルのネーミング、デザイン、PR戦略等で工 夫し、JAISTのもつ「デザインの力」でどれだけ売り上げ が伸びるかを模索した. デザインは JAIST 近くの「七ツ 滝」の"二の滝"を撮り、フォトショップで加工した. 国税局のチェックがあり、原田は作り直しを要求された. このお酒のコンセプトは「このお酒を飲んで、先端科学

技術に対する夢を語らい、JAIST でその夢を醸成し実現す る」である.「先端」は「地酒で乾杯!」の風土に合い, フルーティでおいしいと各種エベントでふるまわれ、好 評・販売中である.

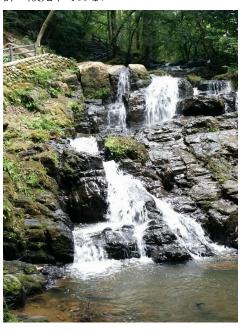


図 1 「七ツ滝」の"二の滝"



図2 純米吟醸「先端」

2016 年度は能美市寺井町の和菓子屋「日本堂」高田敦司社長の協力で、世界初の「もちもちカステラ」を創作してもらった。このカステラは"日持ちすること、地元の特産品であるユズを使うこと、西洋の知と東洋の知の融合、ハラル対応、世界初の創作菓子"という筆者の提案するコンセプトのもと、髙田社長の熱意で製造された世界初の「もちもち感、しっとり感」のある創作カステラである。多くの女性陣の三回の試食に伴う、評価のフィードバックを経て改善・完成した。「地域創生論 2016」終了後、院生の岡田侑里のラベル提案を参考に、プロのデザイナーが商品のパッケージを完成した。このカステラのパッケージには JAISweets というロゴが記載されている。「もちもちカステラ」はモチモチ感を出すため、デザインの絵は能美市の特産品である国造ユズの花と



図3三種の創作菓子の試食会



図4 記者会見(左から高田社長,岡田,國藤)



図5 もちもちカステラ

カカオの花である. 三度の試食会や試行錯誤を経て完成 した. その製造方法は企業秘密とのことである. 約1ヶ 月も日持ちするので、海外出張のお土産にも利用されて いる.

3 あとがき

今年は JAIST 創立 30 周年であり、修了生も修士課程 6752 名、博士課程 1194 名となっている。彼らを中心に教員、在校性が購入したくなるような JAIST グッズの創成記でした。

男性用の JAIST グッズとして「先端」、女性用 JAIST グッズとして「もちもちカステラ」を創作した。それ ぞれ能美市宮竹の「宮本酒造」及び能美市寺井の「日本堂」から購入できる.